

和歌山市のまちづくりについて

□調査期間

令和8年8月31日～9月11日

□調査の趣旨

和歌山市では、今後のまちづくりの方針を定める「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の改定を進めています。これらの計画は、人口減少や少子高齢化が進むなかで、住みやすく持続可能なまちづくりを進めるために、土地利用や交通、防災などの基本的な方針を示すものです。改定にあたり、みなさまの暮らしの実感や、今後のまちづくりに対する考えを把握するため、アンケートを実施します。いただいたご意見は、計画の検討の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

□対象者数

1,620 人(令和8年8月31日現在)

□回答者数

941 人

□回答率

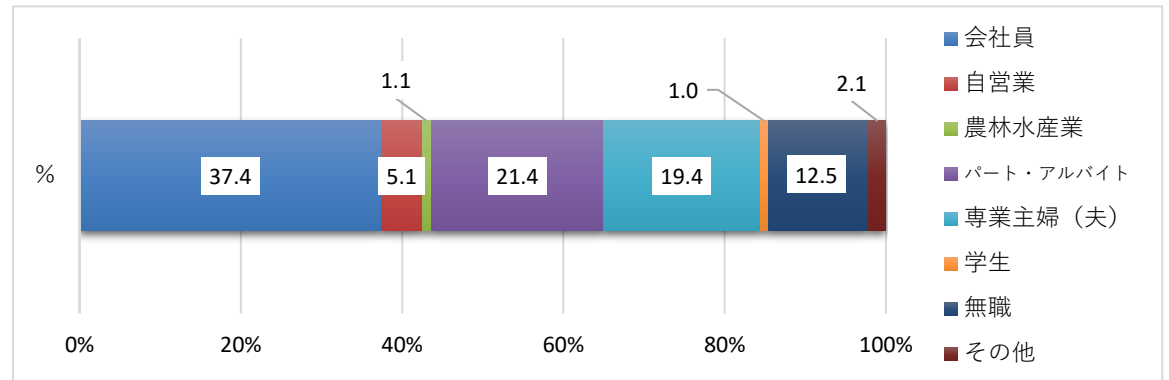
58.1 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

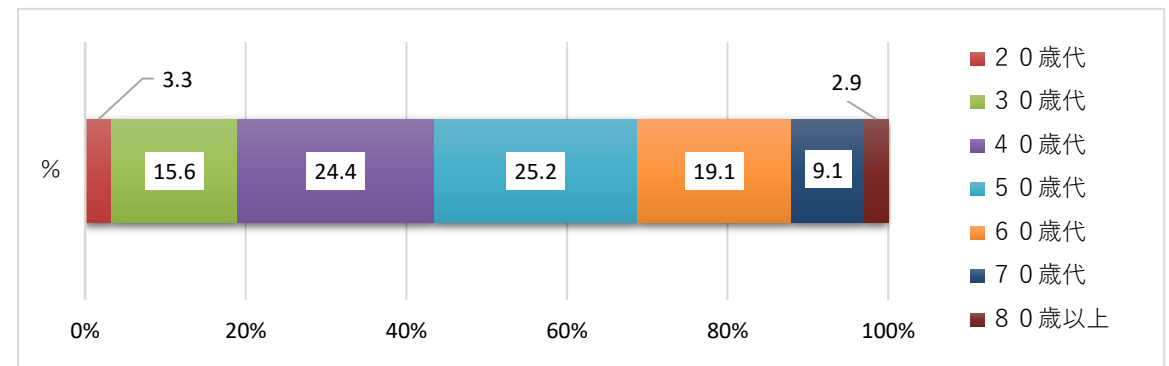
【職業】

内訳	人数	%
会社員	352	37.4
自営業	48	5.1
農林水産業	10	1.1
パート・アルバイト	201	21.4
専業主婦(夫)	183	19.4
学生	9	1.0
無職	118	12.5
その他	20	2.1
合計	941	100.0



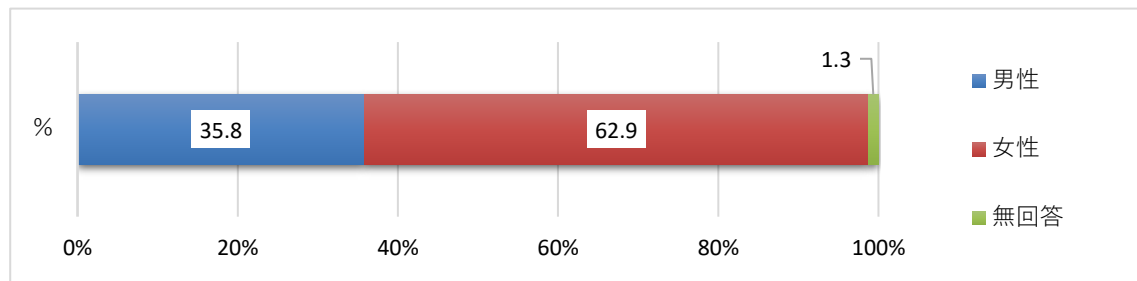
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	3	0.3
20歳代	31	3.3
30歳代	147	15.6
40歳代	230	24.4
50歳代	237	25.2
60歳代	180	19.1
70歳代	86	9.1
80歳以上	27	2.9
合計	941	99.9



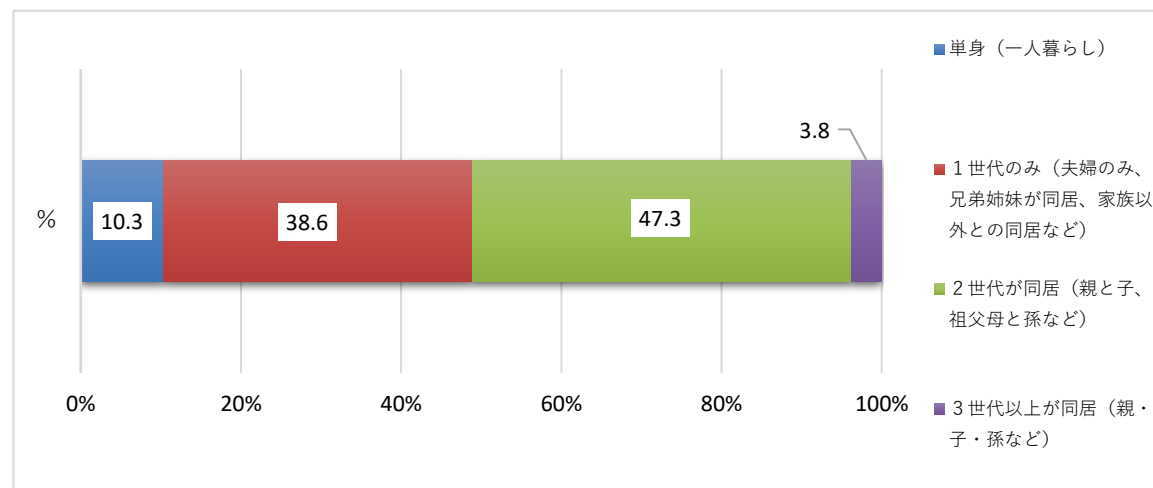
【性別】

内訳	人数	%
男性	337	35.8
女性	592	62.9
無回答	12	1.3
合計	941	100.0



【Q2】あなたの世帯構成を教えてください。(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
単身(一人暮らし)	97	10.3
1世代のみ(夫婦のみ、兄弟姉妹が同居、家族以外との同居など)	363	38.6
2世代が同居(親と子、祖父母と孫など)	445	47.3
3世代以上が同居(親・子・孫など)	36	3.8
合計	941	100.0



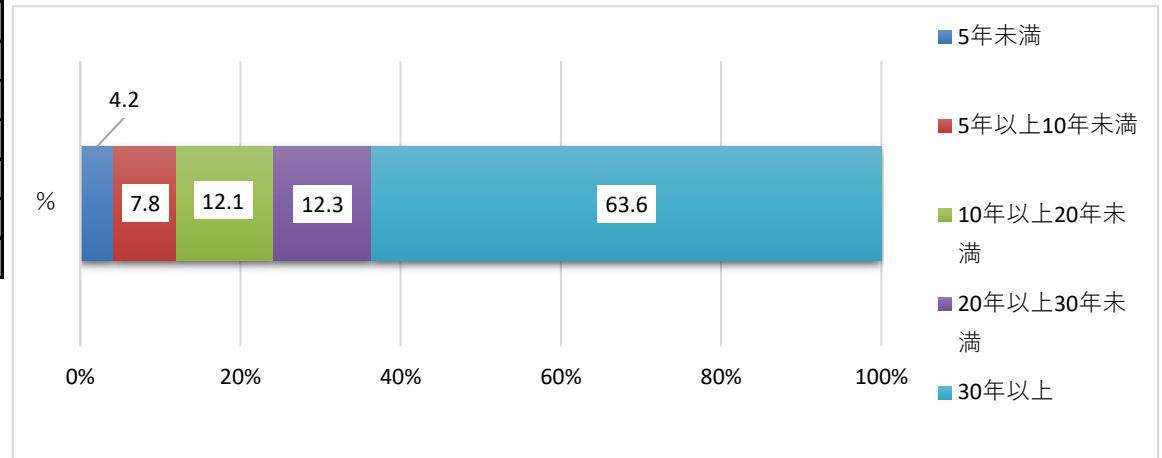
【Q3】あなたが、お住まいの地区はどちらですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
本町	18	1.9
城北	10	1.1
広瀬	24	2.6
雄湊	20	2.1
大新	18	1.9
新南	11	1.2
吹上	25	2.7
砂山	26	2.8
今福	7	0.7
高松	34	3.6
宮	47	5.0
宮北	24	2.6
四箇郷	30	3.2
中之島	27	2.9
芦原	4	0.4
宮前	38	4.0
湊	13	1.4
野崎	41	4.4
三田	15	1.6
松江	24	2.6
木本	34	3.6
貴志	71	7.5

楠見	46	4.9
西和佐	12	1.3
岡崎	27	2.9
西脇	38	4.0
和佐	12	1.3
安原	19	2.0
西山東	5	0.5
東山東	9	1.0
有功	25	2.7
直川	13	1.4
川永	8	0.9
小倉	15	1.6
加太	2	0.2
山口	4	0.4
紀伊	20	2.1
雑賀	44	4.7
雑賀崎	3	0.3
和歌浦	16	1.7
名草	41	4.4
田野	0	0.0
市外在住	21	2.2
合計	941	100.3

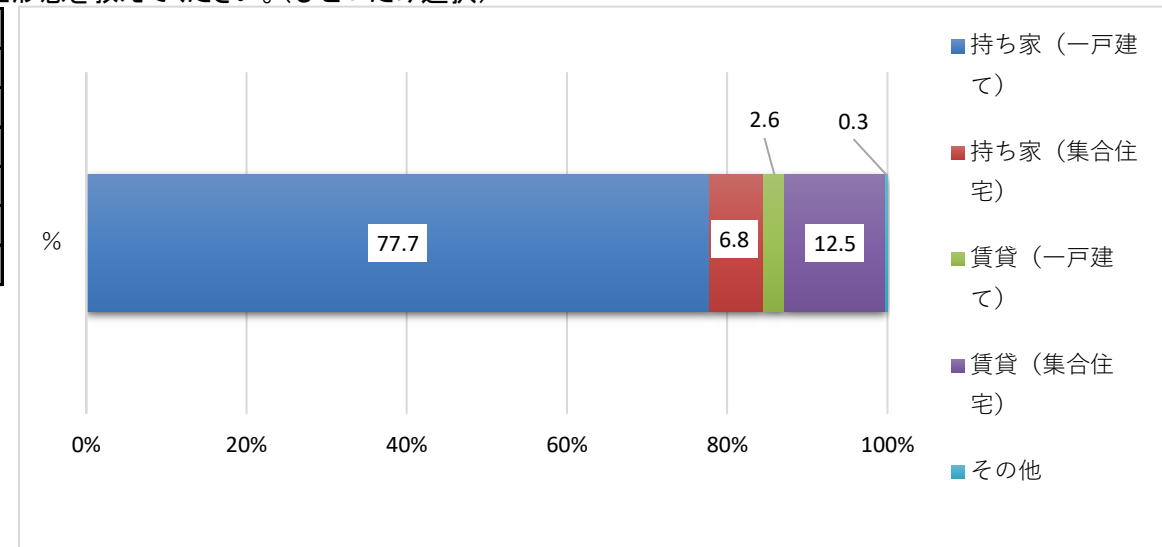
【Q4】和歌山市在住の方へお聞きします。あなたが、和歌山市に住んでいる期間を教えてください。（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
5年未満	39	4.2
5年以上10年未満	72	7.8
10年以上20年未満	111	12.1
20年以上30年未満	113	12.3
30年以上	585	63.6
合計	920	100.0



【Q5】和歌山市在住の方へお聞きします。あなたの、現在の居住形態を教えてください。（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
持ち家（一戸建て）	715	77.7
持ち家（集合住宅）	63	6.8
賃貸（一戸建て）	24	2.6
賃貸（集合住宅）	115	12.5
その他	3	0.3
合計	920	99.9

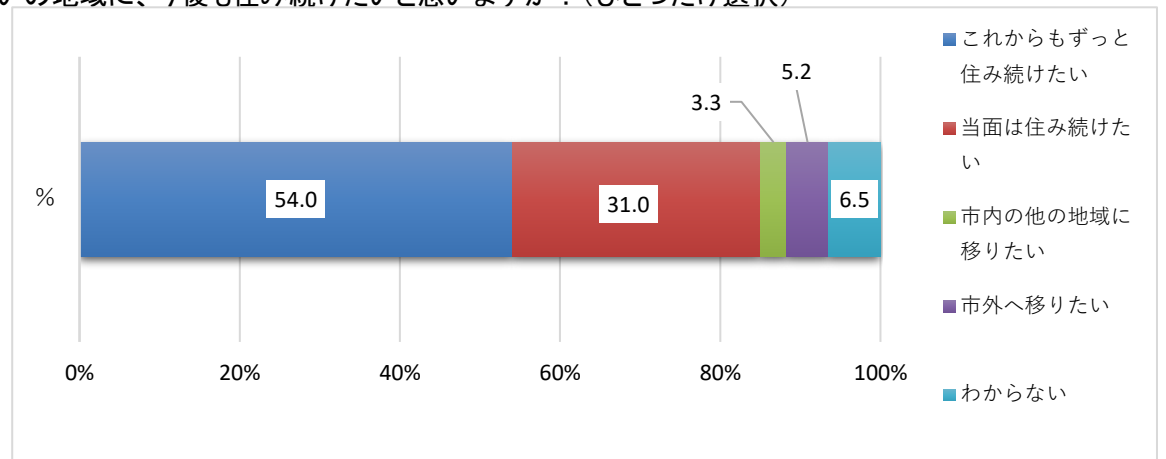


【Q5-1】その他（対象3人）

- ☐ 子の一戸建て持ち家に住んでいる。
- ☐ マンション
- ☐ 借家（無償）

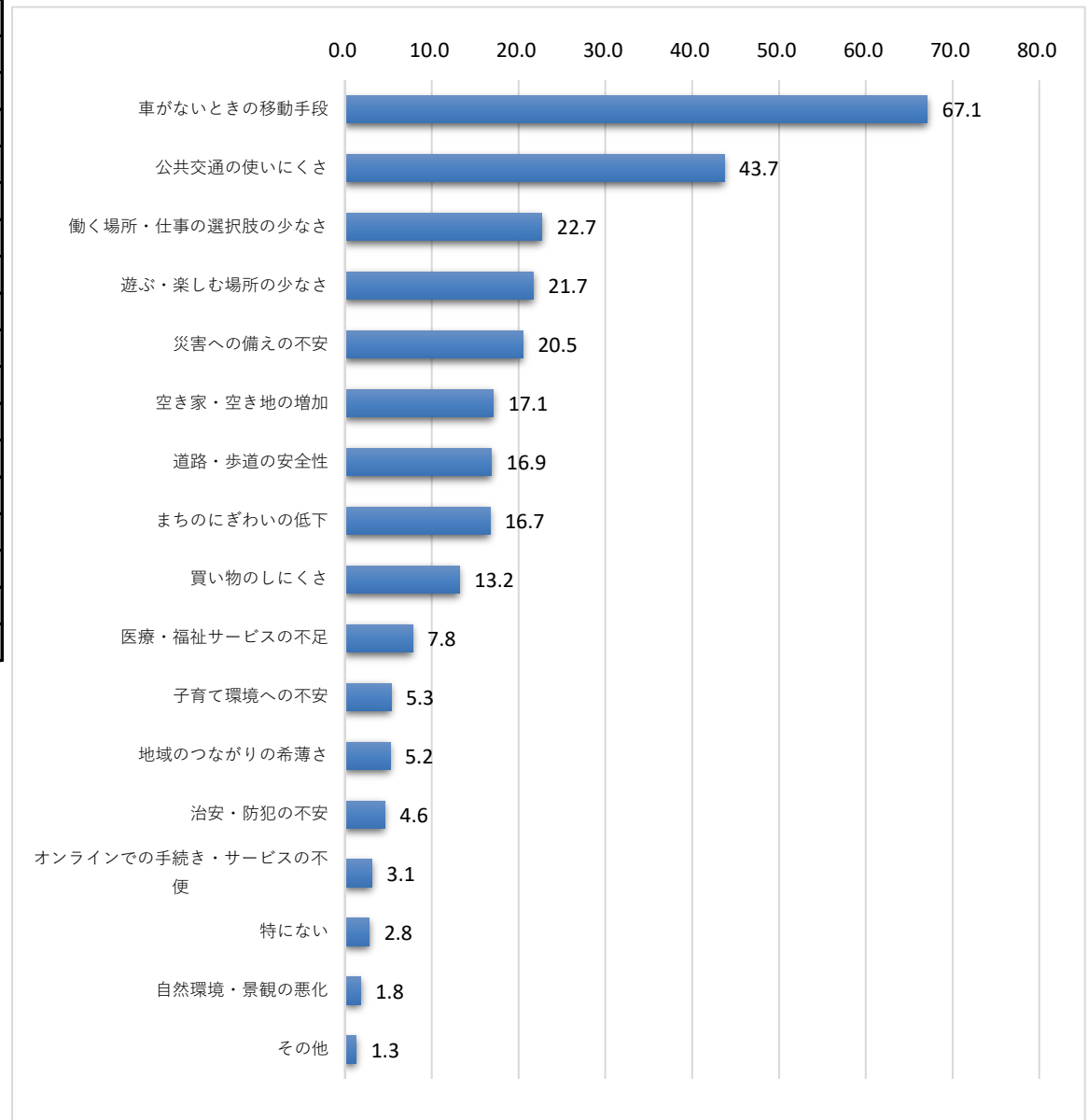
【Q6】和歌山市在住の方へお聞きします。あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住み続けたいと思いますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
これからもずっと住み続けたい	497	54.0
当面は住み続けたい	285	31.0
市内の他の地域に移りたい	30	3.3
市外へ移りたい	48	5.2
わからない	60	6.5
合計	920	100.0



【Q7】あなたが、和歌山市での暮らしで、不便・不安に感じることは何ですか？（3つまで選択）

内訳	人数	%
車がないときの移動手段	631	67.1
公共交通の使いにくさ	411	43.7
働く場所・仕事の選択肢の少なさ	214	22.7
遊ぶ・楽しむ場所の少なさ	204	21.7
災害への備えの不安	193	20.5
空き家・空き地の増加	161	17.1
道路・歩道の安全性	159	16.9
まちのにぎわいの低下	157	16.7
買い物のしにくさ	124	13.2
医療・福祉サービスの不足	73	7.8
子育て環境への不安	50	5.3
地域のつながりの希薄さ	49	5.2
治安・防犯の不安	43	4.6
オンラインでの手続き・サービスの不便	29	3.1
特にない	26	2.8
自然環境・景観の悪化	17	1.8
その他	12	1.3

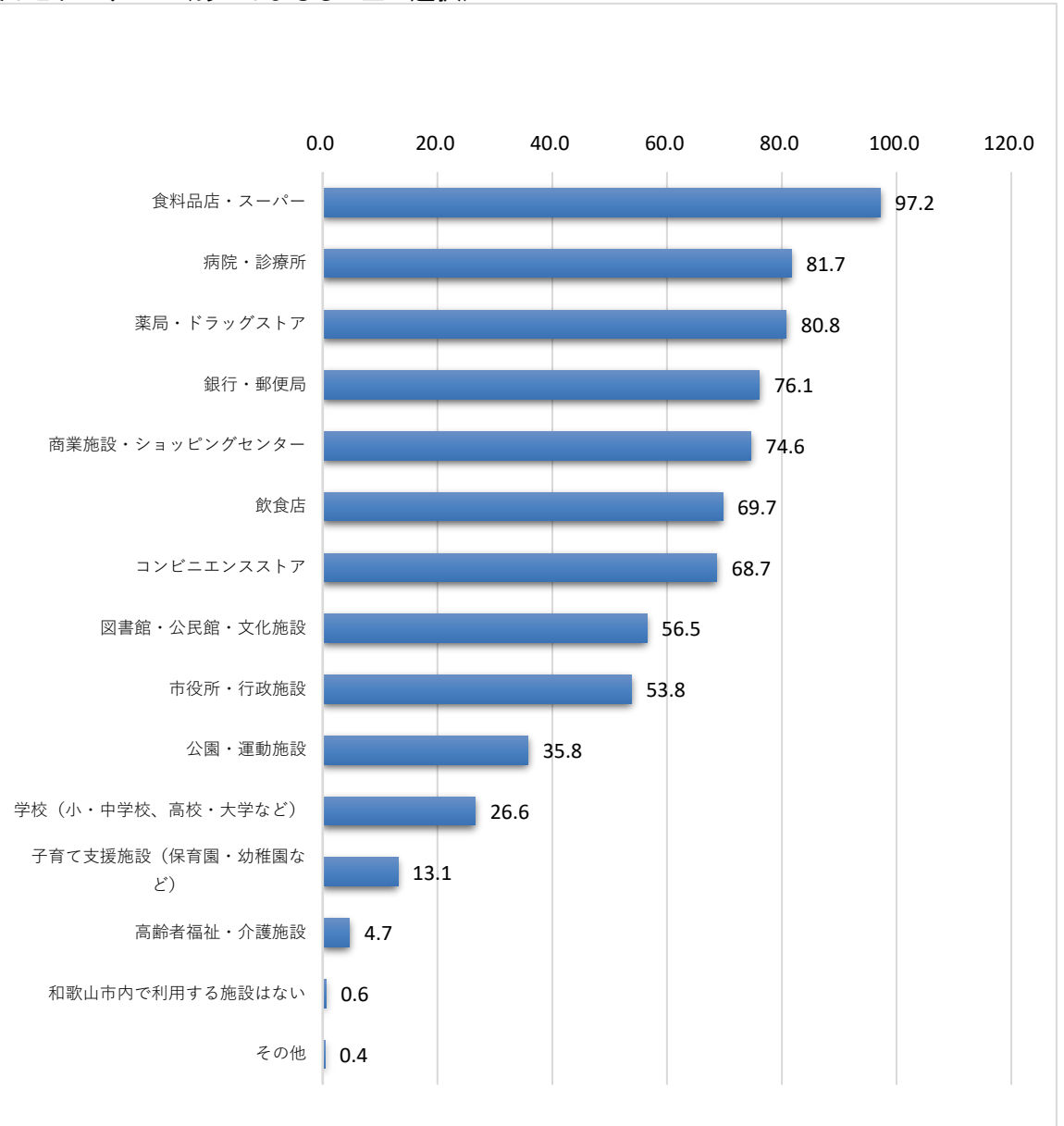


【Q7-1】その他(対象12人)

- 大阪の都心へ出るまで時間がかかる。
- 介護にかかる費用の不安(子どもに関することばかり充実させているように感じる)
- 公共インフラの整備の遅れや仕事の選択肢の少なさなど全て。
- 公共下水道、都市ガスが使えない。
- 子供の進学先の選択肢の少なさ。
- 親族は関東地方に住んでいる。
- 生まれた時から住んでいるので、和歌山市内に住んでいる限りは不便な事はないと思っているのですが、ただ、町の賑わいの低下がとても気になります。ぶらくり丁の中にも新しい店舗が増えていますが、肝心の人の行き来が少ないので、せっかく展開した店舗も長く続くのだろうか・・・と思っています。
- 大阪への時間的距離
- 独身高齢者(特に氷河期世代)に対する支援のなさ。若く結婚する人にばかり支援している。私たちは役所として住んでほしい人じゃないんだ、対象外なんだ強く感じます。
- 物価が高い(東京(関東)と比べるとスーパーなどの品物の価格がほぼ同じか、和歌山の方が高い)。給料が安い。
- 役所での支払いにキャッシュレスが導入しきれていないこと。
- 和歌山市はバスの発達が弱すぎる。もっと和歌山駅を起点として有料で構わないので循環バスを広域にかつ本数を増やして運営してほしい。

【Q8】あなたが、ふだんの暮らしで利用している和歌山市内の施設はどれですか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
食料品店・スーパー	915	97.2
病院・診療所	769	81.7
薬局・ドラッグストア	760	80.8
銀行・郵便局	716	76.1
商業施設・ショッピングセンター	702	74.6
飲食店	656	69.7
コンビニエンスストア	646	68.7
図書館・公民館・文化施設	532	56.5
市役所・行政施設	506	53.8
公園・運動施設	337	35.8
学校（小・中学校、高校・大学など）	250	26.6
子育て支援施設（保育園・幼稚園など）	123	13.1
高齢者福祉・介護施設	44	4.7
和歌山市内で利用する施設はない	6	0.6
その他	4	0.4

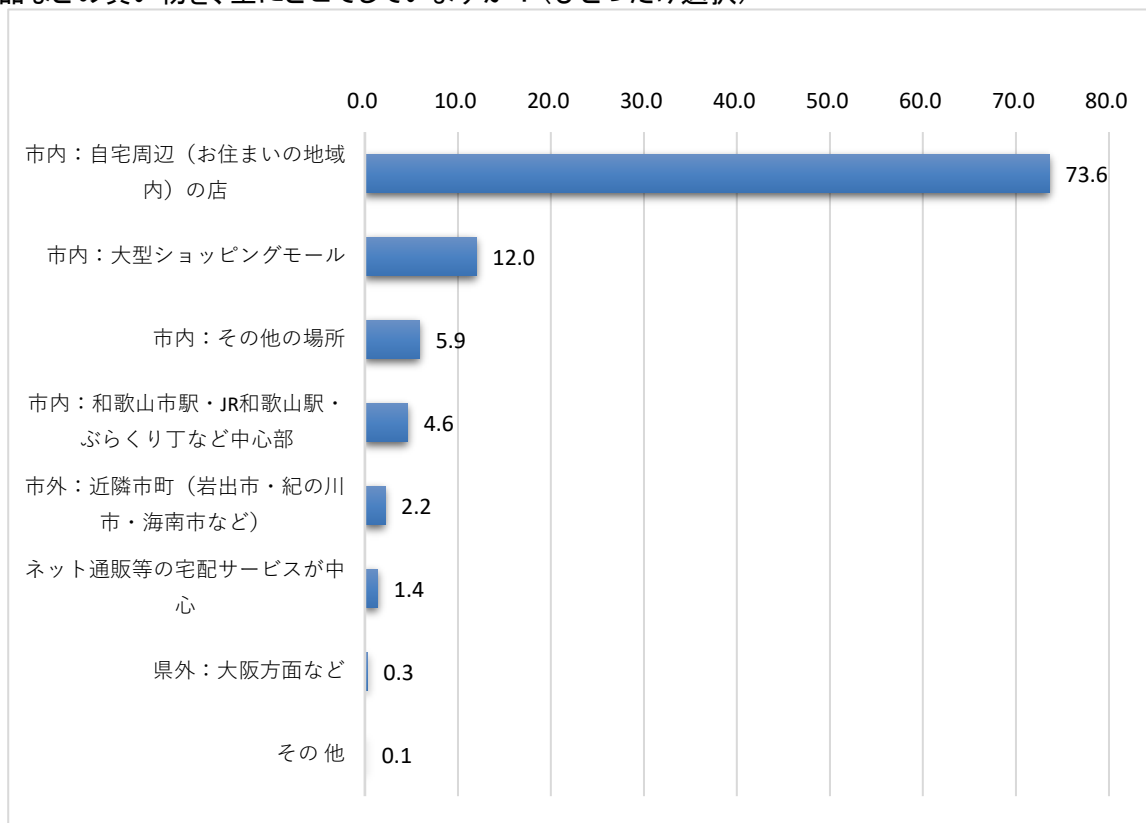


【Q8－1】その他(対象4人)

- ☐ スポーツジム
- ☐ 百貨店、駅
- ☐ プール
- ☐ 会社

【Q9】和歌山市在住の方へお聞きします。あなたは、日常の食料品などの買い物を、主にどこでしていますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
市内：自宅周辺(お住まいの地域内)の店	677	73.6
市内：大型ショッピングモール	110	12.0
市内：その他の場所	54	5.9
市内：和歌山市駅・JR和歌山駅・ぶらくり丁など中心部	42	4.6
市外：近隣市町(岩出市・紀の川市・海南市など)	20	2.2
ネット通販等の宅配サービスが中心	13	1.4
県外：大阪方面など	3	0.3
その他	1	0.1

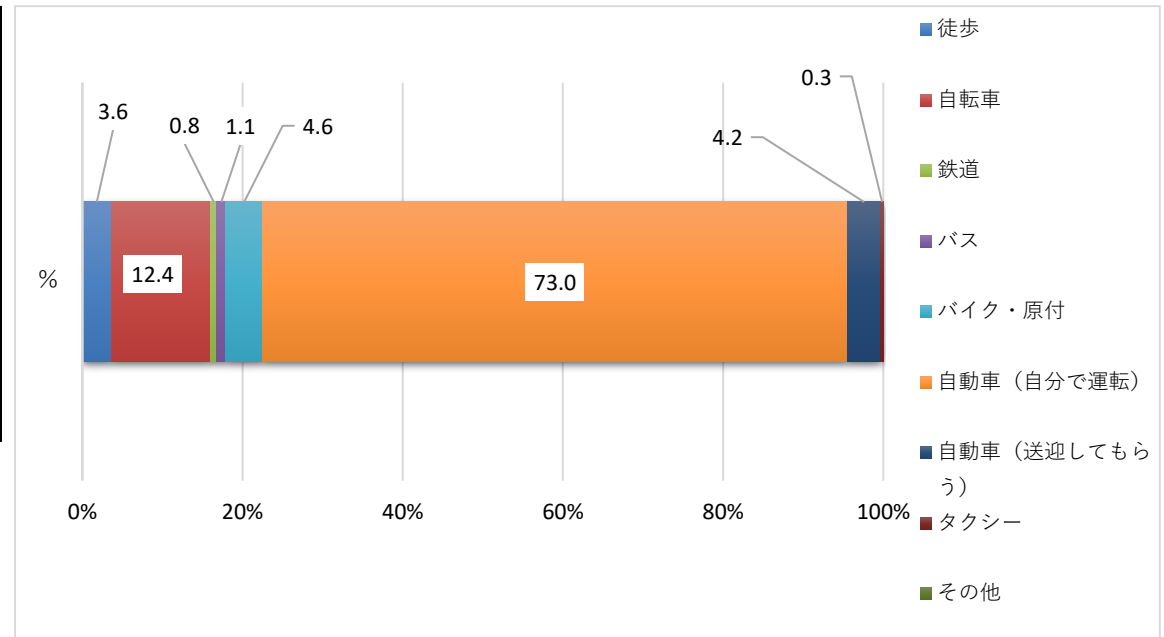


【Q9－1】その他(対象1人)

- ☐ 生活共同組合

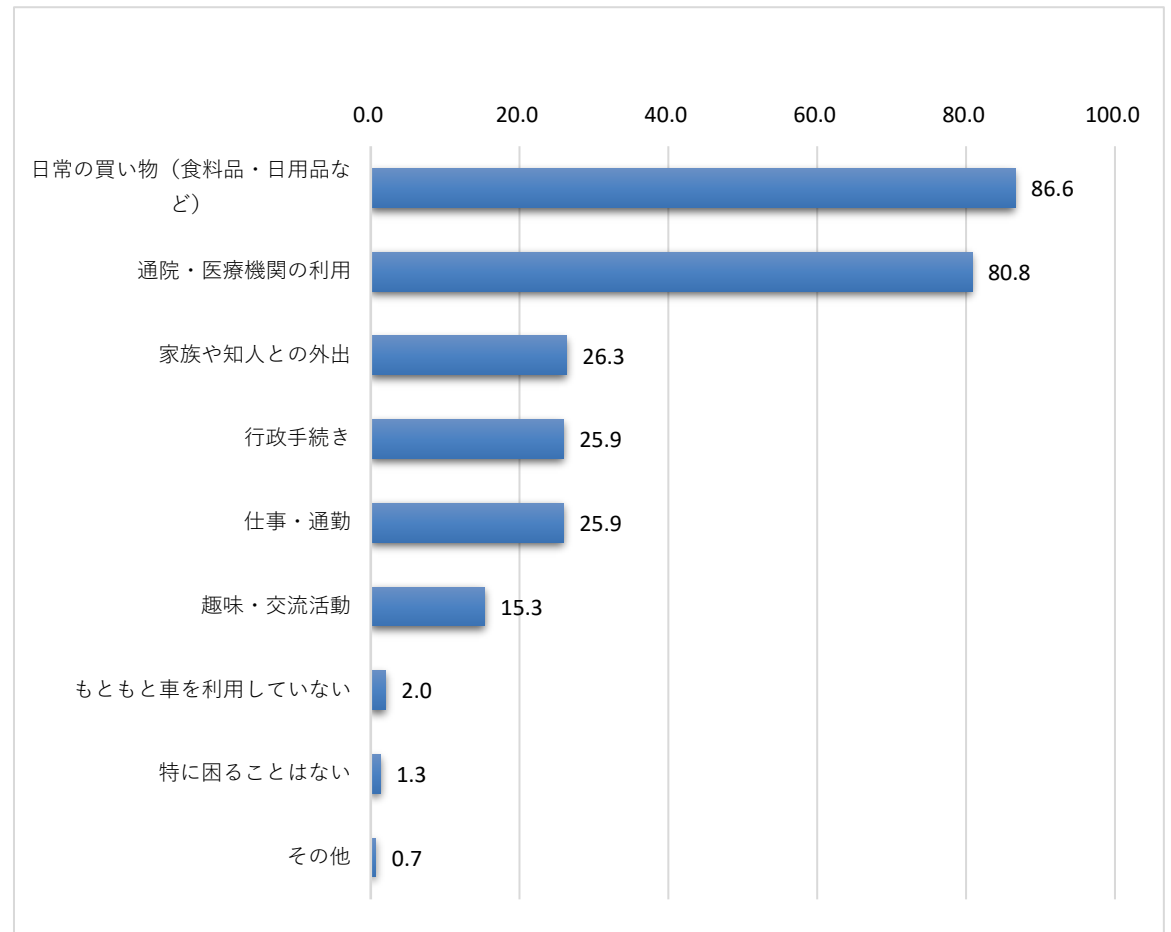
【Q10】和歌山市在住の方へお聞きます。あなたが買い物・遊び・通院などの日常の移動で、最もよく利用する交通手段は何ですか？（ひとつだけ選択）
※通勤（バイトを含む）・通学時は除きます。

内訳	人数	%
徒歩	33	3.6
自転車	114	12.4
鉄道	7	0.8
バス	10	1.1
バイク・原付	42	4.6
自動車（自分で運転）	672	73.0
自動車（送迎してもらう）	39	4.2
タクシー	3	0.3
その他	0	0.0
合計	920	100.0



【Q11】和歌山市在住の方へお聞きます。将来、あなたやご家族が車を運転できなくなった場合、困ると思うのはどのような場面ですか？（3つまで選択）

内訳	人数	%
日常の買い物(食料品・日用品など)	797	86.6
通院・医療機関の利用	743	80.8
家族や知人との外出	242	26.3
行政手続き	238	25.9
仕事・通勤	238	25.9
趣味・交流活動	141	15.3
もともと車を利用していない	18	2.0
特に困ることはない	12	1.3
その他	6	0.7



【Q11-1】その他(対象6人)

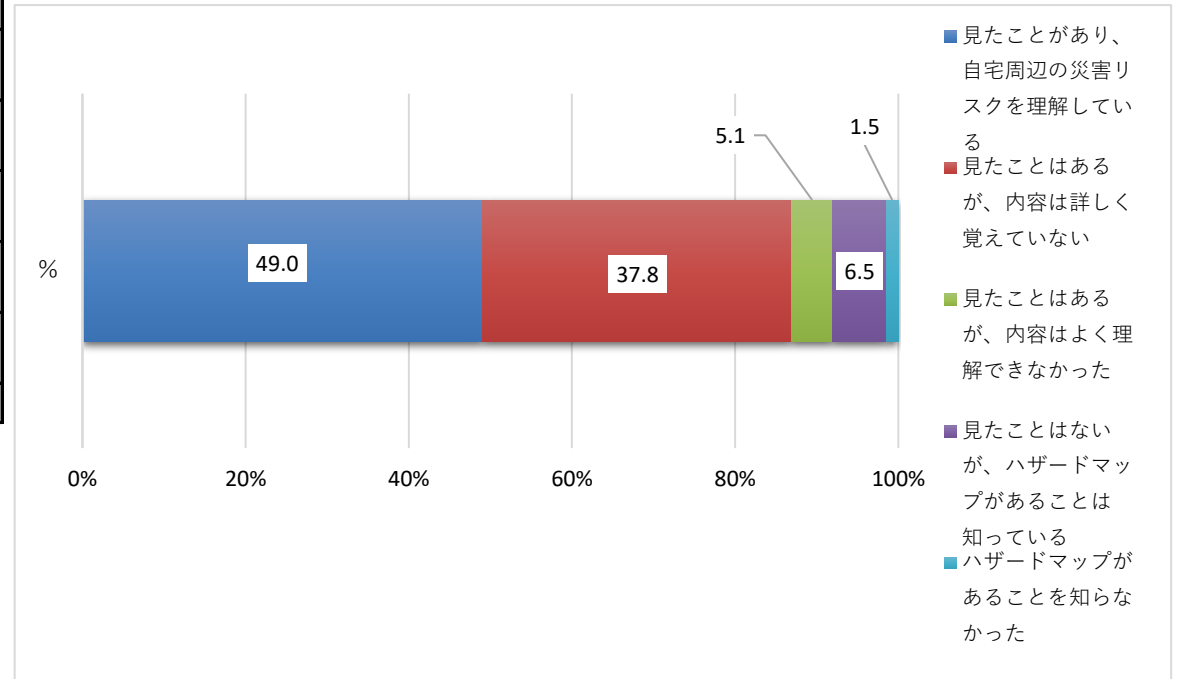
- 移動
- 3つでは足りない、全部
- 悪天候や体調不良の時の外出全般。
- 子供の学校が校区外で車で登校しているので転校しなくては行けない。病院もタクシーでいかないと難しい。
- 子供の送迎
- 全部です。3つ選べませんでした。

【Q12】和歌山市在住の方へお聞きます。

和歌山市では、洪水・土砂災害・地震による津波などの災害リスクが想定されており、市ではハザードマップを公開しています。

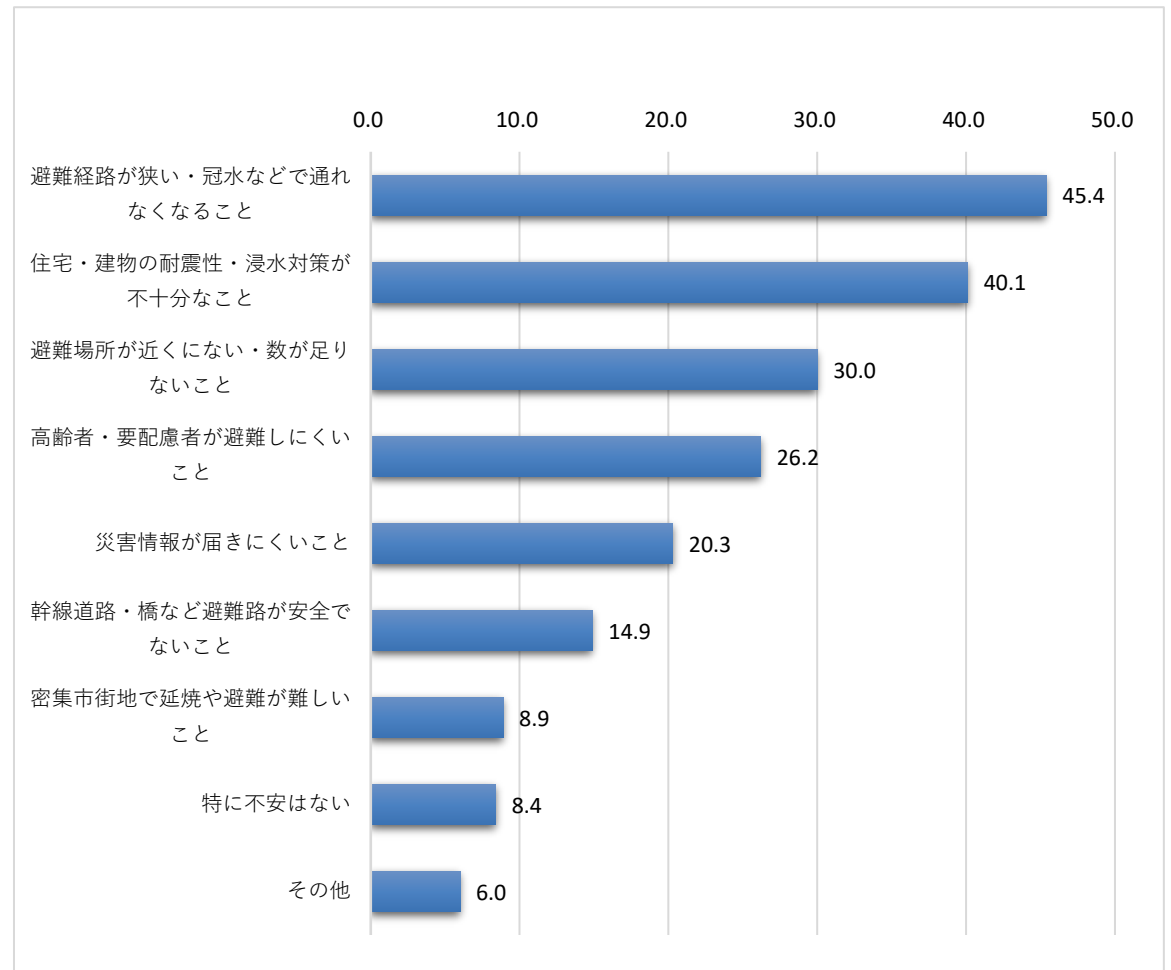
あなたは、お住まいの地域の災害リスクについて、ハザードマップで確認したことはありますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
見たことがあり、自宅周辺の災害リスクを理解している	451	49.0
見たことはあるが、内容は詳しく覚えていない	348	37.8
見たことはあるが、内容はよく理解できなかった	47	5.1
見たことはないが、ハザードマップがあることは知っている	60	6.5
ハザードマップがあることを知らなかった	14	1.5
合計	920	99.9



【Q13】和歌山市在住の方へお聞きます。あなたが、災害への備えについて、不安に感じることは何ですか？（3つまで選択）

内訳	人数	%
避難経路が狭い・冠水などで通れなくなる こと	418	45.4
住宅・建物の耐震性・浸水対策が不十分 なこと	369	40.1
避難場所が近くにない・数が足りないこ と	276	30.0
高齢者・要配慮者が避難しにくいこと	241	26.2
災害情報が届きにくいこと	187	20.3
幹線道路・橋など避難路が安全でないこ と	137	14.9
密集市街地で延焼や避難が難しいこと	82	8.9
特に不安はない	77	8.4
その他	55	6.0



【Q13-1】その他(対象55人)

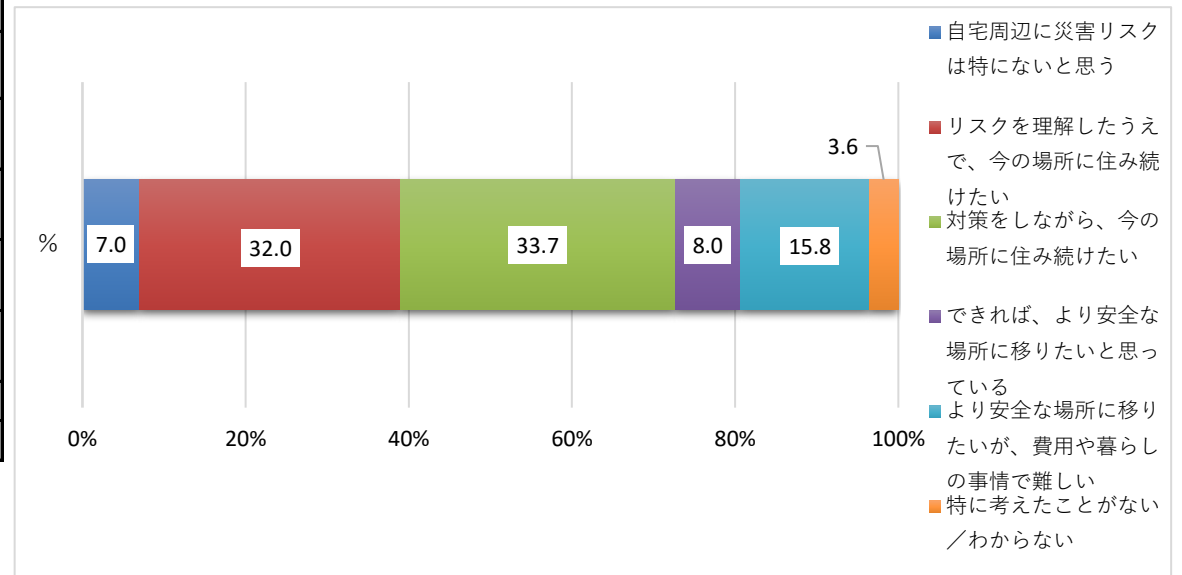
- ペットを連れて避難する場所がない。
- インフラ特に電気・水
- この夏、我が家耐震リフォーム工事したが、隣との家、密接であり地震災害起これば我が家倒壊せずとも、隣家倒壊したら将棋倒しで我が家も倒壊してしまう恐れあり、今後耐震リフォーム工事認可する際は、隣家周辺事情を考慮した認可をお願い致します。
- ため池の決壊が発生しないような対策があまり行われていない事
- ハザードマップ含め必ずしも自宅で災害に遭うとわ限らない。

- ひとり暮らしでとっさの判断がしっかり出来るか不安
- ペットとの避難
- ペットとの避難
- ペットを避難所に連れて行けるか不安です。
- マンション高層階のためエレベーターが使えない時の荷物を持つての階段での上り下りの繰り返しが膝の問題で難しい。
- 愛犬がいるので愛犬との避難について。
- 移動する時に既に家の周りが浸水している。
- 遠くて避難所までたどり着かない。
- 家族が自宅にいる場合、不安は感じませんが日中それぞれが勤務地または、移動中に災害が起きた場合どう対処出来るか不安です。
- 家族が別れている時の連絡手段
- 家族全員の1週間分の飲食料品や簡易トイレなど用意はしているので、最悪、自宅が津波で流された後、避難所での公助がどれだけ準備されているか知りたい。何も分からないと不安になる。
- 海の近くに住んでいますが、避難場所が近くにない為、明確な指示が欲しいです。
- 外出中に災害にあうと周辺状況がわかりづらいし、家族と連絡がつきにくく不安。
- 冠水しやすい。
- 緊急自動車が入れない。
- 近所間での親交が希薄。共助の期待ができないし、緊急時だけ頼って来られるかと思うと憂鬱。
- 近隣の火災による延焼、近くの川の氾濫
- 熊本地震の対応を見ていて、避難所の環境が悪いのではないかと危惧している。TKB体制が整っていないこと。また、パンや缶詰は比較的入手できるものの、栄養が偏るところがしんどそうだなと思いました。
- 最近の超異常気象にハザードマップは対応しているのか心配
- 災害時に地域の拠点となる施設が不明なこと(避難場所や避難所ではなく)
- 坂道。子供が学校に行っている間の発災対応
- 子どもを連れての避難に不安があります。
- 子ども連れの避難となるため、食べ物・施設環境・メンタルケア等ができるか心配。
- 思った様な災害への備えが出来ていないので、全てにおいて不安は、感じています。
- 支援物資が届くかどうか、学校や幼稚園に行っている子どもに会えるかどうか。
- 飼い猫と一緒に避難したい。
- 自宅は少し高台にあるのに避難所として河西中学校や松江小学校、河西コミュニティセンターは海拔の低い場所にあるため冠水の心配があり避難所としてはどうなのか？と疑問に思っています。もし津波が土入川から遡上してきたら松江地区被害が大きいと思います。
- 自宅等ならある程度想定はできているが、発災時に家族がどこにいるかは分からし想定しきれないこと。
- ジッと出来ない子供がいます。みんなと同じところに居るのは無理やし静かに出来ません。その時が凄い不安でしかないです。
- 小さな子供を2人抱えての避難と避難生活が大変になりそうなこと。

- 新居に住み始めたばかりで、防災無線の位置や、頼れるご近所さんがおらず心細いです。
- 前に津波警報が出た時に経験しましたが、ふじと台に避難する道路がすごく混みました。イオンまで到着するのにいつもの3倍くらいはかかったと思います。車での避難はできないのかなと。
- 断水、停電
- 長時間の停電
- 津波警報の避難時に車で避難する人が多いので渋滞し、目的地までたどり着けないかもしれない。
- 日中は大阪市内に働きに行っているため、和歌山の状況がわかりにくい可能性と帰宅できない不安がある。
- 漠然とした不安はあるが、避難の経験がないため、明確な不安要素が分からない。
- 避難所の安全性に不安があること。
- 避難所の環境→ トイレ、空調、パーソナルスペースの確保など。
- 避難場所が安全なのかどうか。
- 避難場所が秋葉山になっているが、急な坂もあり不安
- 避難場所での快適さ。
- 避難場所の学校が浸水しやすいところで不安。
- 避難場所の環境(冷暖房、ベッド、プライバシーの確保など)
- 避難場所まで健脚ではないので行けない。
- 備蓄品を持ちながら、2人の子供を連れて避難所に行けるかどうか不安
- 物資が手に入りにくくなったり、一時的に治安が悪くなること。
- 物資が届かなさそう。
- 防災無線が聞き取りづらい。
- 和歌山市に住んでいるかぎり、南海トラフが来たらどうせ死ぬと思う。

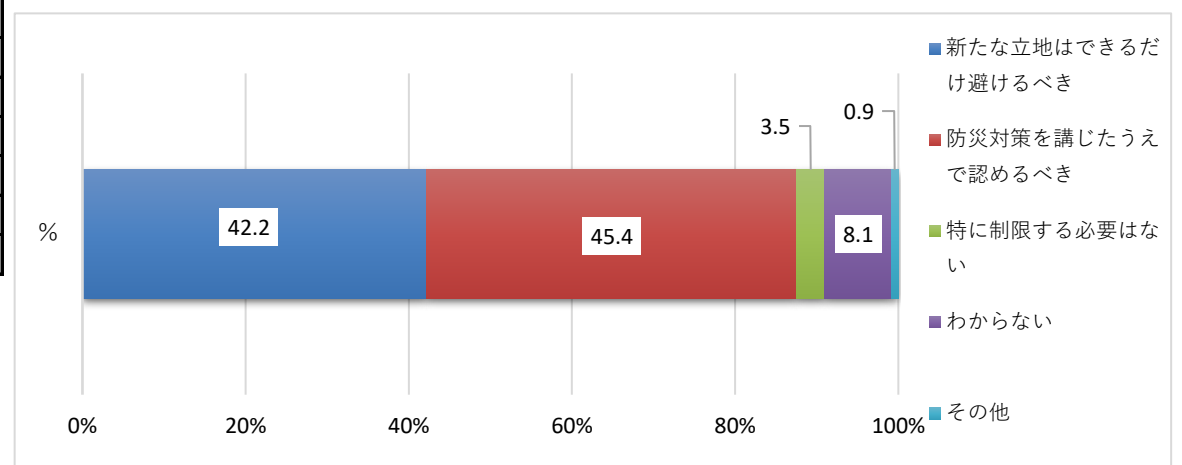
【Q14】和歌山市在住の方へお聞きます。あなたは、自宅周辺の災害リスクを踏まえ、今後の住まいについてどのように感じていますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
自宅周辺に災害リスクは特にはないと思う	64	7.0
リスクを理解したうえで、今の場所に住み続けたい	294	32.0
対策をしながら、今の場所に住み続けたい	310	33.7
できれば、より安全な場所に移りたいと思っている	74	8.0
より安全な場所に移りたいが、費用や暮らしの事情で難しい	145	15.8
特に考えたことがない／わからない	33	3.6
合計	920	100.1



【Q15】あなたは、災害リスクが高い地域における新たな住宅の立地について、どのように考えますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
新たな立地はできるだけ避けるべき	397	42.2
防災対策を講じたうえで認めるべき	427	45.4
特に制限する必要はない	33	3.5
わからない	76	8.1
その他	8	0.9
合計	941	100.1

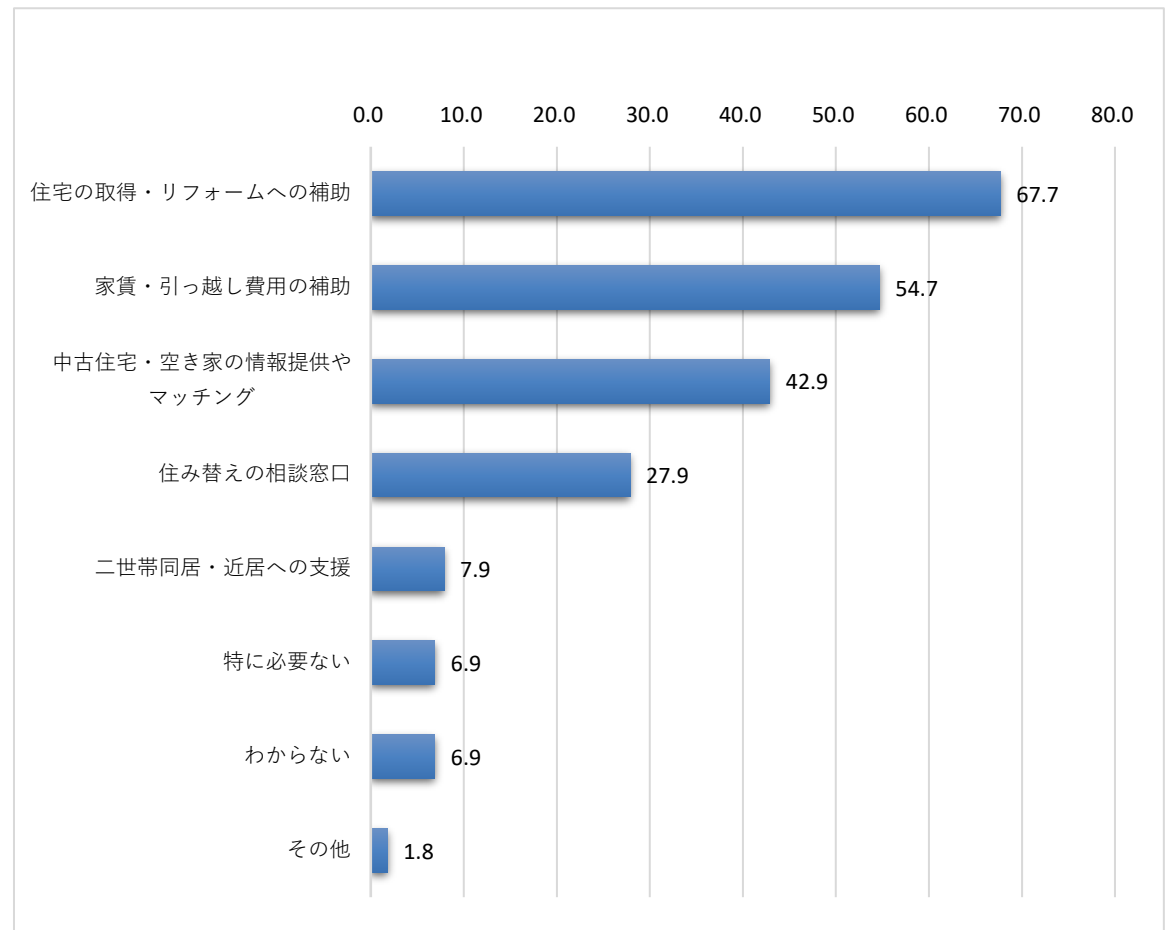


【Q15－1】その他(対象8人)

- 第一に休耕地を潰さないこと。農地は農地のまま農家が使えるように条例を緩和してほしい。あと10年もしないうちに今とは比較にならないくらい大きな食料インフレが来る。農家が農地を増やせるように小さな生産緑地を残すための条例改正など制度を整えることを先にしてほしい。それから新たな住宅立地のことを考えてほしい。
- その場所が利便性の良い場所なら対策を講じた上で認めるべき。原則はコンパクトシティ化を目指さないと成り立たないと思う。
- 建築制限を設けるべき。
- 現状は、宅地、住宅造成は、民間会社任せになっておりその土地、地域が過去どの様な地域であったかは充分検討されておらず？に造成されている。それらが昨今各地での災害発生要因としてあてはまってると思います。。これは和歌山市、のみならず各地方自治体にもあてはまり。
- 災害リスクが研究次第で変動するのだから、制限に意味はないと考えます。
- 津波などの災害を想定して、高台へ住宅を移すことは必要だと思います。ただし、山を削ったりなくしたりすることで、別の災害リスクを高めることがないよう、自然環境にも配慮してほしいです。
- 遊水地だった低地エリアに宅地を築き、周辺地域の浸水確率を高めるのはやめてもらいたい。
- 和歌山はプレートが多くあるので避けて住むことは難しいです。海も近いし、避けられない。何の災害が来るかも分からないし…。ただ、耐震住宅たてれば大丈夫と思ってる人が多い。地盤や硬さで家ごと揺れたり何度も揺れれば家も崩れると思います。リスクの説明はちゃんとした方がいいです。

【Q16】あなたが、まちなかや生活利便性の高い地域への住み替えを進めるために、有効だと思う支援は何ですか？（3つまで選択）

内訳	人数	%
住宅の取得・リフォームへの補助	637	67.7
家賃・引っ越し費用の補助	515	54.7
中古住宅・空き家の情報提供やマッチング	404	42.9
住み替えの相談窓口	263	27.9
二世帯同居・近居への支援	74	7.9
特に必要ない	65	6.9
わからない	65	6.9
その他	17	1.8



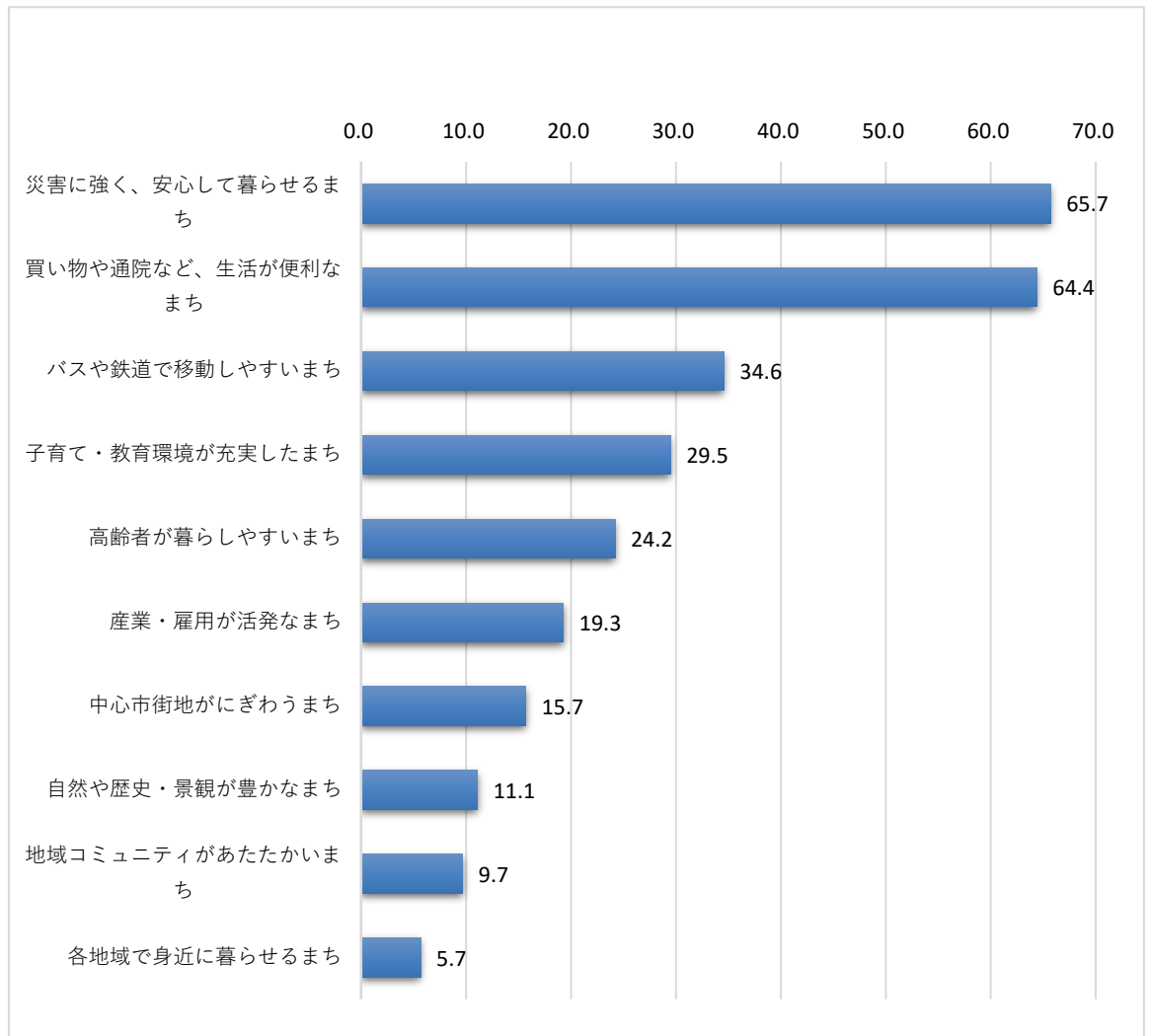
【Q16-1】その他(対象17人)

- 以前新築マンション建設で入居者が安く購入できるように億単位の補助金を企業に出した政策があった記憶がある。(←間違ってたらすみません。)まちなかに住み替えをしてもらう政策に補助金を出すのは、一部の人にしか恩恵がない。それも資金に余裕のある世帯が多いと考えられる。そこに補助金を出せるなら、多くの市民に恩恵が届くことに使ってほしい。財源があるなら社会福祉関連に予算を回してほしい。
- その街での暮らしをイメージできるイメージビデオなど。保守的な人でも新しく生活が自分に合っているということをイメージできるように。
- まずは市民国民を豊かにすること、消費税をすぐにやめて積極財政を進めること。
- まちなかではなく、大学前駅周辺の街を整備することが必要。
- 外国人を入れないこと。空き家解体費用の補助。

- 各市内、旧住宅地域で空き家が多く。この地域、場所は永年の災害からも免れた土地が沢山あります。空き家対策の一環としてそれらの地域に住める環境創りを勧めてもらいたい。
- 空き家の整備
- 現在居住の持ち家の処分方法の相談支援
- 固定資産税の免除
- 交通網の整備。特に市中心部以外はバスが少ないなど移動の不便さがある。
- 行政が率先して進めるべき
- 高齢になっても住宅を借りられるかが心配。
- 災害時に安全かどうか(避難所や対策がされてるかどうか)、子育て支援があるかどうか近くに産院や小児科、公園など子育て支援が多い場所が多い場所の斡旋
- 住民構成情報がしりたい。このエリアなら何歳代が何人くらい。など。
- 適切に分かりやすい情報共有をしてほしいサイトなど。
- 土地の低さ。
- 道路の整備(道が狭いし歩道がないので安全に歩きにくいので)

【Q17】あなたは、和歌山市が目指すべきまちの姿はどれだと思いますか？(3つまで選択)

内訳	人数	%
災害に強く、安心して暮らせるまち	618	65.7
買い物や通院など、生活が便利なまち	606	64.4
バスや鉄道で移動しやすいまち	326	34.6
子育て・教育環境が充実したまち	278	29.5
高齢者が暮らしやすいまち	228	24.2
産業・雇用が活発なまち	182	19.3
中心市街地がにぎわうまち	148	15.7
自然や歴史・景観が豊かなまち	104	11.1
地域コミュニティがあたたかいまち	91	9.7
各地域で身近に暮らせるまち	54	5.7
その他	12	1.3

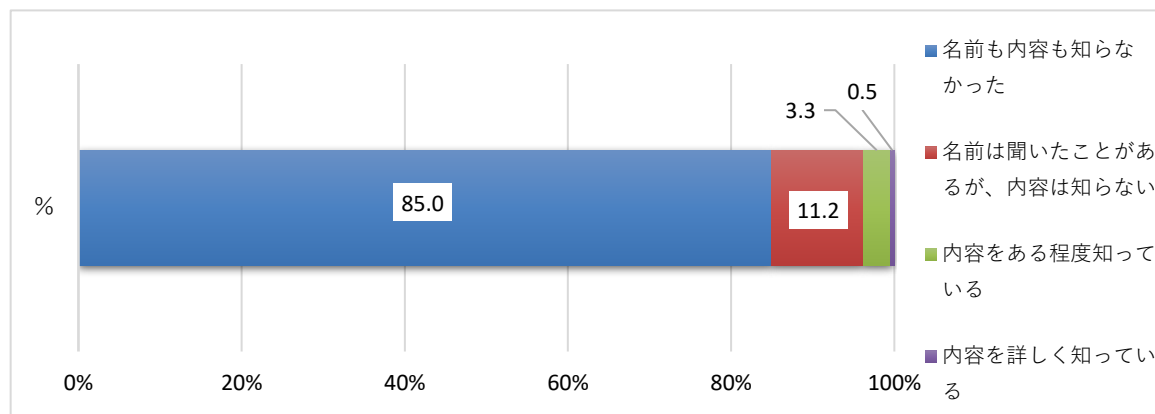


【Q17-1】その他(対象12人)

- ●選択肢に書いてあることは全部大事。公共交通の利便性から被災後の避難所生活まで、市民のための公共を作るのは和歌山市の職務だと思う。そして、障害者や子どもや高齢者など社会的弱者が暮らしやすいまち、誰でも暮らしやすいまちだと思う。●市民の声を聞くだけでなく政策に活かすために、市民と話し合ってどんな和歌山市にしたいのかを一緒につくっていく仕組みがほしい、和歌山市が選んだ有識者だけでなく?。●和歌山市の食料自給率を上げるよう農業を真ん中に置いたまちづくりを考えてほしい。南海トラフ地震など大災害のときに食料を市内で調達できると市民の助けになるから、生産緑地はしっかりと守ってほしい。こんな時代だからこそ宅地を増やすより食料自給率を上げる方が多くの市民にとってプラスになる。企業の利益より市民の公益を第一に考えていただきたい
- 大店舗法を廃止して、市民が商売できる街を作ろう。
- バスでなく、鉄道で移動しやすいまち。
- まちなかではなく、駅前を中心に街づくりを進めるべき。
- 給付金を含めた補助金などの手厚さ。近隣市よりもお粗末であることを自認すべき。
- 給料が高く、物価が安い街
- 財政的な限界を考慮して、現実的な運用をしてほしい。
- 社会保険料の減額
- 障がい者に優しい福祉に強い。
- 上記の全てが当てはまると考えます。人を増やす為、なりふり構わず動いてほしい。
- 信号機なしの横断歩道で車がちゃんと停止し、安心して歩けるまち。
- 和歌山市の遊ぶところが限られているので飽きる。レジャー施設が弱い。だから大阪や三重など県外へ遊びに行く人が多い。名古屋市のように何度でも行きたくなるような科学館、水族館、動物園作って欲しい。

【Q18】和歌山市には、「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」というまちづくりの計画がありますが、あなたはご存じですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
名前も内容も知らなかった	800	85.0
名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	105	11.2
内容をある程度知っている	31	3.3
内容を詳しく知っている	5	0.5
合計	941	100.0



お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。
皆さまからの貴重なご意見を参考に、本市の都市計画に関する施策を推進してまいります。
中でも、問7及び問11の回答結果からは、車を利用できない場合の移動、特に日常の買い物や通院に不安を感じている方が非常に多いことを、改めて認識いたしました。この結果につきましては、現在改定を進めている和歌山市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の基礎資料として活用し、公共交通などを利用して日常生活に必要な施設に行きやすいまちづくりに向けた施策の検討につなげてまいります。
今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。